

梅光学院大学図書館サポーター広報誌

タブラ・ラサ

Tabula・rasa

第18号

「あなたの空間づくりの
バックステージ」



目次 -Contents-

- p.2 目次-Contents-
- p.3 ごあいさつ
Tabula・rasa
図書館サポーター
- p.4 活動報告 2012.11.30~2013.11.8
- p.7 今、振り返って…四年生からのメッセージ
編集後記



梅光学院大学図書館公式マスコットキャラクター
ライブラリアン 13世
愛称・ライちゃん

ご あ い さ つ

図書館サポーター広報誌「Tabula・rasa」を手にとりいただき、ありがとうございます。今回の第18号では、私たちが約1年間行ってきた活動を載せており、日常の活動からイベントの様子まで記録しています。図書館サポーターの日常がどのようなものなのかを知り、少しでも興味をもっていただけたら幸いです。

ぎゅっと詰め込んだ図書館サポーターの1年間をぜひご覧ください。

前図書館サポーター長
文学部日本文学科4年 高崎 美奈子

「Tabula・rasa」発行に際して

図書館サポーター広報誌「Tabula・rasa」は、2005年に「図書館新聞」として創刊されたものが起点となります。タイトル「Tabula・rasa」は社会契約説を唱えたジョン・ロックの言葉で、ラテン語で「白紙」を意味します。

「生まれたとき人は皆白紙である。そこに、経験によって様々な観念が書き込まれる」

私たち図書館サポーターも「白紙」に書き込んでいくように活動の幅を広げていき、多くの経験をしていければ。そのような想いが込められています。

図書館サポーターとは

学生目線で図書館をより良くしていこうと活動する、梅光学院大学図書館のボランティア団体です。POPを作って展示をしたり、オープンキャンパスで図書館案内をしたりしています。

活動内容はその年によって変化していきますが、利用者一人一人に居心地がいい図書館だと感じていただけるようなお手伝いができれば、という考えを念頭に置いて日々活動に励んでいます。

活動報告 2012.11.30~2013.11.8

2012年

11月

- ・新体制スタート

12月

- ・サポーター名簿再編成
- ・追いコン
- ・長会議
- ・年度計画立案

1月

- ・ゴミ箱お試し設置週間
- ・第三回大学図書館学生協働交流シンポジウムのテーマ話し合い
- ・長会議

2月

- ・図書館作業
- ・長会議

3月

- ・オープンキャンパス

4月

- ・入学式
- ・学友会オリエンテーション
- ・部活動・サークル勧誘期間
- ・新サポーター名簿作成
- ・新サポーター歓迎会準備開始
- ・長会議

ゴミ箱お試し設置週間



折り紙で
作成♪



図書館の机に置くゴミ箱を
お試しで設置。



ピシッ!

うーん、
エクセレント!

図書館作業

本棚を移動させたり、図書を入れ替えたり、
目録を整理したり、図サポは何でもします!

学友会
オリエンテーション



スライドを作成して発表!





新サポーター歓迎会



男子も
頑張ります!



歓迎会は
皆でおにぎりパーティ!

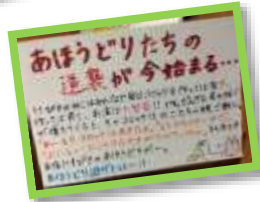


POP 講習会



POP を作る極意!
自分の想いを素直に述べよう!
読者に想いをどう伝えるか考えよう!
読者を惹きつける表現をしよう!

Before



After



とっても
可愛いと評判!



ライちゃん
ノベルティ作成



図書館サポの手作りブックカバー&しおり!
オープンキャンパスに来てくれた方達に
無料配布してます!



5月

- ・新サポーター歓迎会
- ・POP 展示
- ・第一回古本市開催
(東日本大震災復興のための
献金ティーパーティ)
→売上は全額寄付させていただきました!
- ・POP 講習会
- ・長会議

6月

- ・POP 展示
- ・ゴミ箱作成
- ・オープンキャンパス
- ・第二回古本市開催
- ・長会議



7月

- ・ゴミ箱設置
- ・ライちゃんノベルティ作成
- ・シンポジウム会議・ビデオ鑑賞
- ・第二回古本市売上報告
→合計 7750 円でした!
- ・ルーキス祭準備
- ・オープンキャンパス
- ・POP 展示





8月

- ・シンポジウム会議
- ・発表リハーサル
- ・パワーポイント作成
- ・第17号タブラ・ラサ増刷
- ・しおり・ブックカバー作成
- ・オープンキャンパス
- ・ルーキス祭準備



未来の梅大生をお出迎え!



オープンキャンパス



ライちゃんグッズ 大好評!?

9月

- ・オープンキャンパス
- ・「第三回大学図書館学生協働交流シンポジウム」
- ・第一回ブックハンティング



第三回大学図書館学生協働交流シンポジウム



目立ってます黄色Tシャツ

10月

- ・引継
- ・バックナンバー室片付け
- ・古本募集・仕分け
- ・POP展示



緊張するなあ...



11月

- ・第12回ルーキス祭
- ・三年生引退

島根大学にて二日間開催され、今後の図書館について他大学の皆さんと活動報告をしたり、意見交換をしたりしました。

第12回ルーキス祭



皆大好き♡ チョコフォンテュ



今年は「古本市」と甘味処「らいぶらり庵」の二店舗を出店! どちらも大好評のうちに終り、三年生は引退へ...



今、振り返って…

四年生からの
メッセージ

一年間、サポーター長を務めさせていただきました。私は人に指示をしたり意見を言ったりすることが苦手でしたが、何度も仲間にも助けをもらい、活動をしていくうちにメンバーと共に私も成長できました。島根で行われた学生協働交流シンポジウムでの、大人数の前で発表させていただけるという貴重な経験は、自信にも繋がりました。しかし何よりもメンバーが一つのことに向けて一丸となって取り組んだという点が非常に大きかったと思います。日々の活動もまずメンバーが楽しんでほしいと思い、できるだけ明るく楽しいものになるように心がけました。

沢山の人も出会うことができ、本当に楽しい三年間でした。図書館サポーターは学ぶことの多い素敵な団体です。後輩たちもこのことを感じ、今後ますます素敵な団体にしてほしいと思います。

前図書館サポーター長 文学部日本文学科 高崎美奈子

私が図書館サポーターに入ったのは、本が好きだからという理由からです。本が好き、図書館も好き。だから、図書館のボランティアをしている団体とはどんなものだろうと入学当初から興味を持っていました。

実際にサポーターに入ると、館内だけの活動にとどまらず、県外まで出かけたりと、考えていたよりもアクティブな団体でした。一年生の時は、先輩方が教えてくれる活動にただ参加するだけでしたが、学年が上がるにつれ、今度は自分が活動を考えていく立場になりました。本当に図書館のためになっているか、上級生としての責任を果たしているかと悩むこともありましたが、同じように悩む同級生を見て、引っ張って行かなければならない後輩を見て、もっと頑張ろうという気持ちになりました。結果を出せたかは分かりませんが、長いようで短い大学生活の中で一番思い出に残る貴重な体験をさせていただきました。

前図書館サポーター副長 文学部日本文学科 村田恵理

代を引き継いでから、私はブックハンティング長をさせていただきました。

今年のブックハンティングはこれまでとは体制が変わり、実施する回数が増え、図書館サポーター以外の学生も受け入れるという、より学生目線を意識したものになりました。「図書館変わりますプロジェクト (TKP)」の一環としても、このような形になったことは、今までよりも、よりよいブックハンティングになったと思います。

三年生になってからの一年間は主に、全体の仕事を補助することにまわっていました。その中で学んだこと以外にも、三年間を通して様々なことを学ばせてもらいました。優秀な先輩たちに恵まれ、そこで学んだことを後輩に少しでも残せていければと思います。

図書館サポーター 文学部日本文学科 大森一央

私は一番思い出に残る活動はコレッ！とはっきり言えませんが、三年間でいろいろな活動ができました。二年時に始まった班別活動で班長をした時には、班員に指示することの難しさを感じましたが、そう言った初めての取り組みも模索しながらどうにか活動をこなしていました。また島根で行われる学生協働交流シンポジウムのためのPPT制作で、皆で一つのものを作り上げる大変さを学びました。

三年時は私が他の委員会で委員長を務めた関係で、図書館サポーターとして活動できる機会が少なかったのですが、他サークルや委員会との連絡役をすることでサポーター外からの評価を聞くことができ、客観的に活動を振り返ることも出来ました。TKPが着々と進んでいく中、何か私たちがした活動が、後々のサポーターの役に立っていれば幸いです。

図書館サポーター 文学部日本文学科 岡村紀枝

私が三年生になってからの図書館サポーターで、一番印象に残っている活動はルーキス祭です。

今年は古本市とららばら庵という名のチョコレートフォンデュ屋を出店しました。

どちらも好評で、特にチョコレートフォンデュ屋は、時間内に売り切ることができ嬉しい限りでした。

私は主に、事前準備よりも当日の仕事、店番の方が多かったのですが、どちらの店でも多くのお客さんを相手にし、緊張もありましたが充実した日になったと思います。

この一年で後輩も増え、新しくスタートした仕事も多々あります。これらの経験をこれからの生活で活かせばいいなと思います。

図書館サポーター 文学部日本文学科 金澤玲奈

『本が好きな人なら誰でも大歓迎なんだって』図書館サポーターに入ったのは友人の勧めでした。小学校、中学校、高校とじゃんけんで負けて図書委員会に入れなかったことを未だに悔しく思っている私はすぐに首を縦に振りました。図書館で一体どんなことをしているのだろう。初めはよく分かりませんでした。

そしていつの間にか図書館サポーターでの最高学年生に。責任を果たさなくてはと、一人で焦っていました。それを支えてくれたのは仲間です。徹夜したり、何時間も話し合ったり。毎日があつという間に過ぎていました。でも、今思えば全部私の糧になりました。PCも扱えるようになり、資料の作り方も覚えました。

図書館サポーターで過ごした時間は価値のあるものでした。今後、どんな壁にぶつかっても乗り越えていける気がします。

図書館サポーター 文学部日本文学科 古賀有美子

今まで引退する先輩を見送ってきました。しかし、いざ自分達が見送られる番になって、このような文書を書くとなると変な感じがしてしまいます。

振り返ってみると、長かったような短かったような三年間だったと思います。楽しかった事や大変だった事など色々な事がありましたが、いい経験になったと思います。

私は、二年と三年の時に古本市や学祭の準備などを担当しました。二年の時は、先輩の指示のもと行えば良かったのですが、三年となると私自身が後輩に指示を出す立場になりました。その際、同級生や多くの後輩に助けられました。そのおかげで、無事に苦労したこと大変だったことも乗り越えられたと思います。

後輩には図サポを今後もっとより良いものにしてもらいたいです。

図書館サポーター 文学部日本文学科 坂本愛実

時間というのは流れている間は遅く感じるものですが、ふと立ち止まって顧みると思っていた以上に経っていたということは良くあるもので、気が付けば三年生になっていました。先輩方をお見送りしたかと思えばいつの間にか後輩に見送られる立場になりました。この一年間、ブックハンティングや学生協働交流シンポジウムなどに、図書館サポーターでの最高学年として携わりました。特に今年度はサポーターの人数が倍以上に増えたので、サポーター同士の連絡網やなかなか合わないスケジュールの摺合せに慌てふためいたことも今となってはいい思い出です。この図書館サポーターでは忙しくも充実した日々を過ごしました。

図書館サポーターは図書館を良くしていこうとするボランティア団体です。興味があれば、ぜひ図書館に立ち寄ってください。今後とも図書館をよろしく願います。

図書館サポーター 文学部日本文学科 戸嶋保裕

私は、三年間図書館サポーターとして、活動してきました。

オープンキャンパスでの図書館案内などの仕事も最初は戸惑うばかりでしたが、三年になって、落ち着いて出来るようになったので、積み重ねが大切だと思いました。学生協働交流シンポジウムなど学外での活動に参加しましたが、今回連絡を上手く行えずに迷惑をかけてしまうこともあり、反省すべき点が多くありました。しかし、活動自体は大変有意義なものでしたし、多くの人に支えられて、楽しく活動できました。三年になっていきなり増えた後輩に驚き、自分から接することは少なかったので、気を使わせてしまっていたかもしれないと反省しています。

サポーターの活動を通して、学んだことをこれから活かしていきたいと思います。

図書館サポーター 文学部日本文学科 間所加奈恵

編集後記

まずは、「Tabula・rasa」を読んでいただき、ありがとうございます。

「Tabula・rasa」の製作にあたり、今までの活動から自身を、そして組織としての図書館サポーターを客観的に見る事が出来ました。サポーター全員が己の成長を感じたことだろうと思います。それも、皆さまの温かいご支援があつてのことです。

至らぬ点の多い私どもではございますが、今後とも図書館サポーターを見守っていただけると幸いです。皆さまのお声を是非、図書館サポーターにお聞かせください。

梅光学院大学図書館サポーター広報誌「Tabula・rasa」第18号

発行日：2014年7月1日

編集：梅光学院大学図書館サポーター

発行：梅光学院大学図書館サポーター